

CST養成プログラム[現職教員大学院生履修用]概要

(2022年度以降入学者用)

年次	月	ガイダンス等	CST理解	教科内容理解	教科専門性深化	社会教育施設理解	授業実践研修	CST支援実習	
1	4	プログラム説明							
	5		<講義> 半日 科学リテラシーと 観察・実験, 理科 教育の現状と CST, 地区理科教 育センターの歴史 と役割など						
	6								
	7								
	8				<自然観察実習I> 半日×3 里山・河川・海岸				
	9		<講義> 半日 小・中学校学習指 導要領の理解深 化, 理科教育の最 新の方法論, 注目 される実践例など	<講義・演習1> 3 日 小・中学校の理科, 及び高等学校の物 理・化学・生物の学 習指導内容につい ての分析・理解, 基 本的実験指導の確 認と発展的実験の 演習など	<自然観察実習II> 3日 高山・亜高山	<大学院授業> ・・選択科目例・・ カリキュラム・マネジ メントを育む理科学 習デザイン論 教科内容構成(理 科)の理論と実践A 教科内容構成(理 科)の理論と実践B 教科内容構成(理 科)の理論と実践C 教科内容構成(理 科)の理論と実践D 科学的リテラシーの ための授業設計論 理科教育課程の理 論と実践 自然環境学習の理 論と実践 理科授業の理論と 実践(野外観察)	<課題研究> 各自が理科に関 わる研究課題を設 定し, 見通しを持っ て研究計画を立 て, 調査実験を行 い, 科学的な考察 により結論を得た ものを, 論文にま とめる。	<視察1> 半日 国立妙高青少年 自然の家 <視察2> 半日 フォッサマグナ ミュージアム <視察3> 半日 清里星のふるさと 館	<実習1> 5日 各地区理セン理解 研修会準備 研修会運営 地域素材把握 科研・標本展準備 科研・標本展運営 科学振興事業支 援 年度末事務理解 など
	10				<自然観察実習III> 半日×6 市街地・地質・気 象・ICT活用など				
	11							<研修> 半日×6 実践校理解, 単元打 ち合わせ, 教材研 究, 授業案検討, 授 業実践, 実践検討な ど	
	12								
	1								
	2								
	3		履修状況確認						
	2	4	プログラム確認						
5									
6									
7									
8									
9				<講義・演習2> 3 日 内容は上記					<実習2> 5日 内容は上記
10									
11									
12									
1									
2									
3		CST認定・修了発表 会							



本プログラムの講習内容は
本学ホームページからも
ご確認いただけます。